



2021年度各地区連合会編集委員紹介



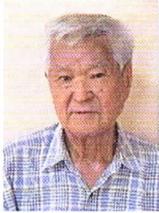
木曽地区 編集長
竹島 正

連合会だよりは年4回町内会・自治会連合会や各地区の活動を掲載しています。今回で88号となりますが紙面の構成もマンネリ化しているのご指摘もあり、今後も魅力ある紙面づくりに努力したいと思っています。またコロナ禍にもめげず、活動されているグループやサークルなどで会員の皆様にお伝えしたい取り組みや情報などございましたら、ご紹介させて頂きたいと思っておりますのでご連絡をお待ちしております。



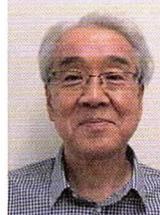
相原地区 副編集長
井上 正行

連合会だよりは市連の活動の概要を会員に伝えるツールとしての役割を担っております。然しながら、定期発行という性格上、紙面の内容がパターン化してきています。その時々、鮮度の高い情報を如何に伝えていくのか知恵の出どころだと思います。そんなことを考えながら、編集委員として携わってきたいと考えています。



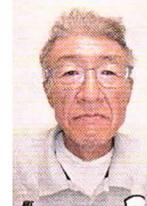
南地区
編集委員
火ノ川 待雄

異例のオリパラ開催となり無観客で行われています。南地区としては交流と親睦を深めるために、この難局を皆さんと協力し合い通常の運営に戻れるよう願っています。そして顔の見える自治会活動に一日も早く戻ればと考えています。



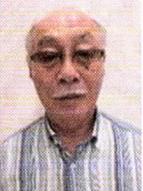
高ヶ坂・成瀬地区
編集委員
藤林 文男

市連のお仕事は、初めてやらせていただきます。より多くのおみなさまのご意見をいただき、町会・自治会活動に有益な情報が発信できますよう頑張ります。よろしくお願いいたします。



町田第一地区
編集委員
飯田 高信

広報のお仲間にしていただいて3年となりました。文章を書くのが苦手な私ですが、コロナ禍の自粛で思うような活動が出来ない中、安全安心な住みよい町づくりのため、連合会でのお知らせや市内のできごとなど、会員皆様のお役にたてることを発信お伝えできればと考えています。



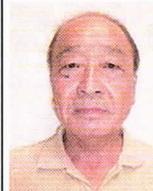
町田第二地区
編集委員
鈴木 則夫

6年目の編集委員ですが昨年に続き今年もコロナ禍のため、第二地区の各町内会も殆ど活動ができず材料不足です。コロナ禍の終息を待つだけでなく、「地域のつながりを守っていく活動」を続ける工夫と手だてが必要です。町内会・自治会全体から役だつ情報を集め、紹介していきたいと思っています。



玉川学園・南大谷地区
編集委員
亀永 能布子

当地区では、地域交流の一つとして、7月に2か所で平和祈念事業「アオギリのねがいー映画と歌のつどい」を行い、秋には2つの小学校で「星空映画祭」を行います。困難な時期が続きますが、少しでも明るいニュースをお知らせできればと思っています。



忠生地区
編集委員
田中 幹生

忠生地区を担当しております。当地区は町田市へのソに当たる地区であり、将来的にも多くの発展の余地が残されています。地区の動きをとらえて、市民の皆様が緑と都市の調和を考えてもらえるような記事を載せたいと思います。



鶴川地区
編集委員
北川 もと

昨年に続いて2年目の編集委員です。この夏コロナ感染症はますます拡大してしまい、市連の取組みも町内会・自治会の行事もなかなか復活できない状況が続いています。そんな中でもユニークな取組みや役に立つ話題などをお伝えできればいいなと思っています。



小山地区
編集委員
粉川 敏治

コロナ禍も新種株に置き換わり、未だ終焉を迎えておりませんが小山地区では国連サミットで掲げられたSDGsの目標達成の一環となる「フードドライブ」(9/1付社協だよりも掲載)を新たな町内会活動の一つとして取り組んでいきたいと考えています。

原稿募集

会員の皆様からの原稿を募集します。各地区での催し物や講演会、日頃の活動など様々な行事や取り組みをご紹介します。選考の上、連合会だよりに掲載します。ご応募お待ちしております。詳しくは連合会事務所までご連絡下さい。 042-722-4262 E-mail: machida_choujiren@yahoo.co.jp

七夕飾りと、子ども達の笑顔で癒される境川団地の夏

去年から続く新型コロナ禍の中、自治会から地域の人たちへ“癒されるものを提供したい”との思いから、この夏団地内の公園に「七夕飾り」を吊るす事にしました。七夕飾りというと、笹枝が付いた竹に、願い事を書いた短冊を吊るしたものを想像しますが、今回挑戦したのは平塚七夕や仙台七夕のような和紙で作った花で彩られた飾り物です。

飾り付け期間は梅雨時を避け8月5日から8日の4日間(10時~17時)を予定しました。

6月から制作に取り掛かりました。竹で編んだ「くす玉」に紙を貼り、その上に花を糊で貼って完成させようと考えました。ところが、くす玉を制作する職人が見つからず、すべて自前で骨組みから作らなければならなくなりました。

まず初めに完成予定図を作成しました。球体は難しいので厚みのある500円硬貨の様な形にしました。5m程の高さに吊るすので、見上げた時に小さく見えないように直径を90cmにしました。

次は、材料選びです。資材・建材を販売している大手量販店に行き、重くならないように引っ越しの時などに使う軽い養生シートや細い角材を購入し、制作を開始しました。

直径90cmの円形の飾り物は5個づくり、「七・夕・ま・つ・り」と5文字入れる事にしました。他にも四角い骨組みを大小合わせて10個作り、女性役員には花づくりをお願いしました。10色で約3500個もの花を作り上げ、7月中旬には骨組みが完成し、いよいよ花付けです。



骨組みが花に彩られ、一回り大きく感じられました。本番一週間前に一部を現地で吊るして見ることにしました。全体の飾りつけは5列で各列に円形と大小2個の四角い飾りです。更にその下には1m60cmの長さのテープで飾られた吹き流しです。1列だけを吊るしてみましたが、あまりの重さに急きょ計画の変更です。その結果、四角い飾り物は地上での飾りにし、吊るすものは、円形と吹き流しのみになりました。(写真左下)



初日、朝から快晴で気温は午後には30度を超える暑さでした。午前中は飾り付けやテント張り、そして子供たちの為に無料の水ヨーヨーやスマートボールをプールに浮かせ用意しました。午後からは三々五々見物に来られる人達や写真を撮る人も見受けられました。中には「きれいですね」「どうやって作ったのですか？」など興味をもたれる方や、家族や仲間を連れてくる子ども達など多くの方が来られ瞬間に一日が終わりました。後半2日間は雨の為中止となりましたが、子供たちから高齢の方まで楽しんで頂けた2日間となりました。

編集長 竹島 正